ネット依存度調査の結果について(山名小)

1 静岡県ネット依存度の調査結果(10月末現在)

県教委では、各学校に依頼し、本年7月から、子どもたちがセルフチェックにより、ネット依存リスクを判定できる調査を実施。10月末現在の結果が取りまとめられた。

区分	実施人数	依存リスク該当者(総合判定)		
		計	中リスク	高リスク
小学校	2,929 人	1,264 人(43.2%)	916人(31.3%)	348 人(11.9%)
中学校	2,389 人	1,208 人(50.6%)	981 人(41.1%)	227 人(9.5%)
高校	4,425 人	2,429 人(54.9%)	2,158 人(48.8%)	271 人(6.1%)
特支	41 人	26 人(63.4%)	23 人(56.1%)	3 人 (7.3%)
計	9,784 人			

※ 中リスク:要注意。ネット・スマホの使い方をもう一度よく考え直す必要あり。

高リスク:早急な改善が必要。ネット依存傾向が非常に強い。

2 袋井市内の小中学生の状況

各学校の実情に応じて、学年やクラスを決めて、9月~10月に実施した。

【小学校】

学校名	実施人数	計	中リスク	高リスク
<mark>山名小</mark>	<mark>316 人</mark>	140人(44.3%)	113人(35.8%)	27人(8.5%)
袋井市	2, 315 人	1,074人(46.4%)	744 人(32.1%)	330人 (14.3%)

【中学校】

学校名	実施人数	計	中リスク	高リスク
袋井市	1, 419 人	703 人(49.5%)	583 人 (41.1%)	120人 (8.5%)

3 調査内容とリスクの判定基準

(1)調査内容

ア Kスケール (韓国政府が開発したテスト)

「インターネットの使用で、学校の成績が落ちた」「"やめなくては"と思いながら、いつもインターネットを続けてしまう」など、15項目について、「全くあてはまらない」 (1点)、「あてはまらない」(2点)、「あてはまる」(3点)、「非常に当てはまる」(4点)を選択し、それを集計してリスクを判定。

小学生	中高生	採点基準
42 点以上	44 点以上	高リスク
39~41 点	41~43 点	中リスク
15~38 点	15~40 点	リスクなし

イ IAT(アメリカの医療機関で使用されているテスト)

「気がつくと思っていたより、長い時間インターネットをしていることがありますか」「他にやらなければいけないことがあっても、まず先に電子メールをチェックすることがありますか」など 20 項目について、「全くない」(1 点)、「まれにある」(2 点)、「時々ある」(3 点)、「よくある」(4 点)、「いつもある」(5 点)を選択し、集計して判定。

70 点以上	高リスク
40~69 点	中リスク
20~39 点	リスクなし

(2)総合判定 2つの調査結果から高リスク、中リスクを判定している

		K スケール			
		高リスク	中リスク	リスクなし	
I	高リスク	依存傾向が非常に強い	依存傾向が非常に強い	依存傾向が非常に強い	
A	中リスク	依存傾向が非常に強い	要注意	要注意	
	リスクなし	依存傾向が非常に強い	要注意	問題なし	

依存傾向が非常に強い

→ 高リスク

要注意

→ 中リスク